

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミャンマー政府（農業灌漑省農業局）主管農林業研修センターの施設、機材等の整備並びに職員の能力強化と研修内容の改善を図る。 ・ イェサジョ郡内の事業対象地における住民の生計が向上する。
(2) 事業内容	<p><u>1. 農林業研修センターの機能強化</u></p> <p>①老朽化したミャンマー政府・農業灌漑省主管の研修センター施設・衛生施設の修繕及び設備資材（発電機、灌漑用エンジン等）を整備する。</p> <p>まず、施設の修繕に関しては、最初に建設業者選定・契約、資機材搬入の後、計画では自然保護センター改修工事を先に行う予定であった。ただミャンマー各地で増えている建設工事により職人が工面できなくなった為に止む無く変更し、先に研修センター屋根張り替え工事、応接間床補修工事、男性職員部屋増築工事、男性職員用トイレ、水浴び場新設工事を実施し無事に完了した。残りの自然保護センター改修工事、飲料水タンク新設工事は現在工事中である。</p> <p>次に、設備資材の整備に関しては計画通り、発電機、農業トラクター（乗用・手押し）、灌漑用エンジン、運搬用車両、乗用バイクを購入しセンターへの搬入も行った。</p> <p>尚、当初4月に予定をしていた研修センタースタッフの訪日研修は、研修受け入れ先の都合により、10月以降に変更となった。</p> <p><u>1. 農業用水へのアクセス改善を通じた農業生産性の向上</u></p> <p>① 既存灌漑システムの修繕・強化</p> <p>契約した業者がチャウダカ村、アニャトー村（変更承認済み）2村の施設修繕、強化工事の為の測量・調査を実施した結果問題は無く、設計、積算も併せて実施した。</p> <p>② 既存灌漑ダムの修繕</p> <p>契約した業者がサリンゴン村の施設修繕、強化工事の為の測量・調査を実施した結果問題は無く、設計、積算も併せて実施した。</p>
(3) 達成された効果	<p>(a) 研修センターの設備、機材の更新・修理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋根の張り替え：乾期には雨がほとんど降らないが、雨期になると集中豪雨が降ることがしばしばある。以前は屋根にあちこち小さな穴があき、雨の強い時には各所で雨漏りがしていたが、張り替え後それが全く無くなった。 ・ 応接間床の補修：建設後の老朽化により床のベニア板が破損し、弱いところに乗ると床が突き抜けてしまう恐れがあったが、修理が終わり心配なく歩けるようになった。改修後、農業灌漑省の普及部長、大統領補佐官、パコック県知事、エサジョ郡長等が訪れた。 ・ 男性職員用トイレ・水浴び場の増築：これまでの男性トイレ・水浴び場施設は非常に手狭で不衛生な状態が散見されたが、増築さ

	<p>れた設備によりそれらの状況が改善された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男性職員寮：これまでは多くの男性職員が大部屋にベッドを並べた手狭な環境で寝泊まりをしていたが、新しく8部屋の個室が整備され住環境が改善された。 ・ 機材の整備により、センターで行われている研修がこれまでに比べてスムーズに行われるようになった。また、設備機材の整備によりスタッフが修理、整備にかかる時間が少なくなった。遠出の職務において途中で車やバイクが故障することがなく活動が機動的になった。 <p>[指標]設備、機材の更新により、今後5年間で約150万円(年平均30万円)の研修センターの維持管理経費が節約出来、それを事業運営経費の利用に投入できるようになり、研修センターの運営が安定する。</p> <p>⇒今後5年間なので、現状ではまだデータはない。</p> <p>(b) 灌漑システムの構造強化サブプロジェクト</p> <p>[指標] チャウダカ村、アニャトー村、サリンゴン村のそれぞれの農地で、毎年灌漑水を利用出来るようになる。</p> <p>⇒1年次は、測量・設計等の事前調査のみで工事は2年次に行う予定であるので、現状ではまだ利用できない。</p>
(4) 今後の見通し	<p>施設整備に関しては、残りの自然保護センター改修工事と飲料水タンク新設工事は順調に進んでおり、事業期間内には予定どおり完了する予定である。また、研修センタースタッフの訪日研修と日本人専門家派遣を年内に実施する予定である。そして本事業は3年計画の1年目であることから、2年目以降の計画の準備も同時に進めていく。</p>